

EUS 教育に対する動画撮影を用いた内視鏡フォーム矯正の有用性を検討する 後向き試験について

1. 研究の対象

2024 年 6 月～2025 年 2 月までに EUS スクリーニングを受けた患者さん

2. 研究目的・方法

EUS(超音波内視鏡検査)による観察は胆膵疾患の精査や経過観察に必要ですが、その検査精度は検査を実施する内視鏡医に依存するため、内視鏡医は EUS 観察のトレーニングをうけより精度をあげる必要があります。とくに十二指腸下行部からの観察では、十二指腸ストレッチ操作が重要ですが、初学者の多くは上手な十二指腸ストレッチ操作を行うことが難しい事が多いです。当科では十二指腸ストレッチ操作時の体幹の動きを動画撮影し、そのフォームを矯正するという教育法を行なっています(撮影は内視鏡医のフォームのみで患者さんは映っていません)。この方法はスポーツや楽器演奏などの技術習得に有用であるとの報告がされています。今回、この動画撮影を用いた十二指腸ストレッチ操作のフォーム矯正が、EUS 観察の精度に与える影響を評価することを目的とした試験を行いました。内視鏡医が施行したスクリーニング EUS において、十二指腸下行部操作に関わる EUS の精度を評価し、教育の前後で比較することで、より精度の高い EUS が実施できるような教育ができると考えます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・患者背景：年齢、性別、EUS 目的

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器内科

住所:静岡県磐田市大久保 512-3 電話:0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一